

第4章 基本政策④ にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】

第3節 環境保全

施策1 脱炭素社会の推進

基本計画
掲載頁 114～115

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	公共施設への再エネ・省エネ設備の導入や、市民及び事業者への補助金制度などの実施、また、環境問題等に係る啓発活動を実施し、環境負荷の低減と市民意識の高揚に取り組むことができた。
			課題	施策展開は現状のまま継続するが、KPI「環境に関する講座・セミナーの開催回数」については、目標値が達成できるよう着実に進めていく。
今後の 方向性	I	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	施策展開については、現状どおり進めていく。 引き続き、重点対策加速化事業として国に採択された市の計画を基に再エネ・省エネ設備の導入等を推進していく。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
環境に関する講座・セミナーの開催回数	17回	27回					30回	B	環境課
温室効果ガスの排出量（市域・事務事業）	市域(R1)618.4千t 事務事業(R2)10,348t	市域(R3)613千t 事務事業(R4)10,276t					市域442.9千t 事務事業7,165.8t	B	環境課
設置可能な市保有建築物の太陽光発電導入率	28.80%	32.37%					43.60%	A	環境課
公用車における電動車の導入率	5.20%	7.40%					64.90%	B	環境課
ごみの総排出量	46,638t	44,431t					43,629t	A	環境課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】 A：目標を上回るベースの指標値 B：目標値を達成するベースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

(1) 環境負荷の低減と市民意識の高揚	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 国が示した温室効果ガスの削減目標を踏まえ、市民及び事業者と一体となって、市域における温室効果ガス排出量の削減を目指した取組を進めます。	B（おおむね順調）	令和5年度に新座市の計画が重点対策加速化事業として国に採択され、当該計画を基に公共施設への再エネ・省エネ設備の導入や、市民及び事業者への補助金制度などを実施しており、概ね計画どおりに進んでいる。	市民生活部	環境課
○ 市民の環境に関する意識の高揚を目的として、幅広い年代に向けた環境保全のための講座、イベントなどを開催し、各種啓発活動を推進します。	B（おおむね順調）	市民に対する出前講座、商業施設との共同イベント、各公民館の講座を通じて環境問題に係る啓発活動を行った。 また、新型コロナが5類感染症になったことから、令和6年度以降の講座、セミナーの開催依頼が増えることが見込まれる。講座の積極的なPRについて具体的に検討していく。	市民生活部	環境課
○ 公共施設への再生可能エネルギー等の導入を推進するとともに、省エネルギーシステムの設置の普及に努めます。	A（順調）	公共施設への再エネ・省エネ設備の導入は、計画どおりに施工が進んでいる。	市民生活部	環境課